

KENWOOD

VHF FM 無線電話装置

TCP-123 シリーズ

TCP-133W シリーズ

UHF FM 無線電話装置

TCP-223 シリーズ

TCP-233W シリーズ

TCP-523

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

© B62-1773-10
09 08 07 06 05 04 03 02 01

プライオリティースキャン	23
データ専用チャンネル(TCP-523のみ)	24
セレコール機能	25
セレコールON時のチャンネル表示	25
個別呼び出し	26
グループ呼び出し	28
グループ設定	30
セレコール番号について	31
一斉呼び出し	32
一斉割り込み呼び出し	34
不在着信	36
セレコールメッセージ伝送	38
セレコール定型文表示	40
セレコールメッセージメモリー	41
セレコールメッセージ自動応答	43
ワンタッチセレコール番号呼び出し	44
その他の機能	46

その他

免許について	50
免許状	50
使用上の制限	50
免許の有効期限	50
免許の申請その他の手続き	50
故障かな?と思ったら	51
症状と処置	51
アクセサリ(オプション)	52
保証とアフターサービス	53
仕様	54
メモ欄	55

目次

機種名一覧	4
安全上のご注意	5

準備編

梱包品の確認	8
電源について	8
バッテリーパック(オプション)の取り付け/取り外し	9
バッテリーパックについて	10
バッテリーケース(オプション)の取り付け	11
アンテナの取り付け	12
ユニバーサルコネクタのカバー取り付け	12
スピーカーマイクロホン/イヤホン付き クリップマイクロホン(オプション)の接続	12
ショルダーベルト(オプション)の取り付け	12
ベルトフック(オプション)の取り付け/取り外し	13
ハードケース(オプション)の取り付け	13
各部の名称	14
ディスプレイ	15

基本操作

待受受信操作	16
ボリュームを調節する	16
送信操作	17
閉局する	17

使いこなす

キー操作をできないようにする	18
ディスプレイの照明を点灯させる	19
エマージェンシー機能	19
メニュー機能	21
セレコールメニューの選択	22
機能メニューの選択	22

2

機種名一覧

本書は簡易無線機と一般業務用無線機を、共通に説明しています。

簡易無線機

機種名	TCP-123	TCP-133W	TCP-223	TCP-233W
型式名	TCP-123CT	TCP-133WCT	TCP-223CT	TCP-233WCT
送信出力	1W/5W		1W/4W	

小エリア簡易無線機

機種名	TCP-523	法令により自動識別装置(ATIS)を内蔵しています。
型式名	TCP-523	
送信出力	0.2W/1W	

一般業務用無線機

機 種 名	TCP-123		TCP-133W	
型 式 名	TCP-123FT		TCP-133WFT	
送 信 出 力	1W/5W			

機 種 名	TCP-223			TCP-233W	
型 式 名	TCP-223FT360		TCP-223FT400		TCP-223FT450
送 信 出 力	1W/4W				

●保護等級(IP規格)について

本製品の保護等級は機種により下記のようになっています。

保護等級	IP-54		IP-55/ IP-57	
機種名	TCP-123	TCP-223	TCP-523	TCP-133W TCP-233W

IP-57(防塵・防湿形): 水深1mの真水・静水に静かに沈め、指定以外の圧力を加えず、30分後に引き上げても有害な影響がない。

IP-55(防塵・防噴流形): 内径6.3mmのノズルにより全方向から毎分12.5リットルの噴流水を3分間かけても有害な影響がない。

IP-54(防塵・防沫形): 全方向からの水の飛沫によっても有害な影響がない。

- IP-57規格は水中で使用できる規格ではありません。
- TCP-133W/ 233Wのバッテリーパックとスピーカーマイクロホンは、同じくIP-55/ IP-57規格のKNB-34LWとKMC-37Wを使用してください。
- IP-55/ IP-57規格の防水性能を維持するため、オプションも含めた年に一度の定期点検(有償)をお薦めします。
- 落下など強い衝撃を与えた場合は、IP-55/ IP-57規格の防水性能に影響を与える場合があります。

●免責事項について

商品の故障・誤動作などにより、利用の機会(通話など)を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

4

3

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	危険 この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

5

警告・注意事項は機種により、以下のように記載しています。

- ：各機種共通の事項
- ▲：TCP-123/223/523に関する事項
- ：TCP-133W/233Wに関する事項(防水性能維持に関する内容)

警告

使用環境・条件

- 運転しながら交信しないでください。交通安全上、危険です。
- 病院等では、電波により医療用電気機器(手術室、集中治療室等)に影響を与えることも考えられますので、医療用電気機器の近くでは使用しないでください(電源も入れないでください)。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、使用しないでください(電源も入れないでください)。運行の安全や無線局の運用・放送の受信に支障をきたす恐れがあります。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。

使用方法について

- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。
- アンテナのごく近くに人・動物・ペット等がいるときは、電波を発射しないでください。やけど、目の異常の原因となります。
- ▲ この製品に水をかけたり、水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- ▲ この製品を水などでぬれやすい場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- この製品の近くに、小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- この製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 水中では使用できません。高い水圧のかかる場所での使用や、水中に長時間沈めることもおやめください。
- 海水、プール、温水の中には絶対に浸さないでください。

保守・点検

- この製品のケースは開けないでください。けが・感電・故障・防水性能低下の原因となります。内部の点検・修理は、ご購入の販売店にご依頼ください。

6

注意

使用方法について

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所や、ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。ケースや部品が変形したり、火災の原因となります。
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。
- アンテナを誤って目にささないようにしてください。
- アンテナを接続しない状態で、送信しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ユニバーサルコネクタには、オプションのマイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源を切り、バッテリーパックやバッテリーケースを本体から取り外してください。
- 端子が濡れた状態で接続しないでください。良く乾かしてから接続してください。

保守・点検

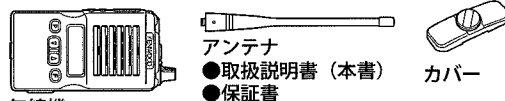
- お手入れの際は、安全のため必ず電源を切り、バッテリーパックやバッテリーケースを本体から取り外してください。火災・感電・故障の原因となります。
- 水滴が付いたら、乾いた布で拭き取ってください。
- 石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸さないでください。
- 水中に沈めたり、蛇口からの流水による水洗いはしないでください。

7

準備編

梱包品の確認

梱包品がすべてそろっていることを確認してください。



無線機

- アンテナの形状は機種により異なります。
- TCP-523のアンテナは本体に固定されています。

電源について

本機を使用するには専用のバッテリーパック(オプション)が必要です。無線機により使用できないバッテリーパックがありますので、下記表をご覧ください。なお、バッテリーパックは専用の充電器(オプション)で充電してから使用してください。

機種名	バッテリーパック (ニッケル水素)	KNB-18N (ニカド)	KNB-19 (リチウムイオン)	KNB-23L (リチウムイオン)	KNB-34LW (リチウムイオン)	KBP-3 (バッテリーケース)
TCP-123/223/523	○	○	○	×	△	
TCP-133W/233W	×	×	×	○		×

- KBP-3は送信出力1W以下での使用のみです。
- 各バッテリーパックの電流量は「アクセサリ」(52項)をご覧ください。

- ニッケル水素、ニカドバッテリーパックが完全に充電されている状態では、再充電を行わないでください。この状態で再充電を行うと、バッテリーパックの寿命が縮まったり、破損することがあります。
- ニッケル水素、ニカドバッテリーパックの充電後は、バッテリーパックを充電器から抜き取ってください。充電後、バッテリーパックを充電器に放置したまま充電器の電源を切り、しばらくしてからまた電源を入れると、バッテリーパックはもう一度充電され、過充電状態になってしまいます。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、バッテリーパックを分解しないでください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、電池の寿命です。このまま充電を繰り返すと、液漏れの原因となることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

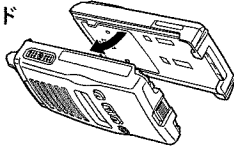
8



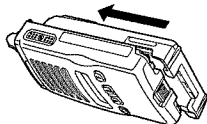
- バッテリーパックの特性について
- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。

■ バッテリーパック(オプション)の取り付け/取り外し

1. バッテリーパック内側の2つのガイドを本体裏面のみぞに合わせます。



2. バッテリーパックを本体裏面のみぞにそって矢印の方向にすべらせ、バッテリーパックを本体にカチッと音がするまではめ込みます。

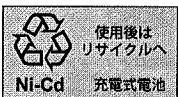


3. バッテリーパックを本体から取り外すときは、本体のリリースボタン周辺を持ち、リリースボタンを矢印1の方向に押しながらバッテリーパックを矢印2の方向に抜き取ります。

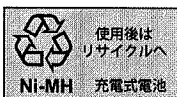


■ バッテリーパック(オプション)の取り付け/取り外し

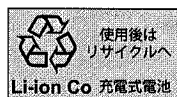
不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



使用後は
リサイクルへ
Ni-Cd 充電式電池



使用後は
リサイクルへ
Ni-MH 充電式電池



使用後は
リサイクルへ
Li-ion Co 充電式電池

■ バッテリーパックについて

バッテリーの充電時期について(*1)

ディスプレイのバッテリー表示で充電の目安を知ることができます。「バッテリー電圧低」の表示になったら早めに充電してください。



※は販売店において、バッテリー表示ありに設定されている場合のみディスプレイに表示されます。

バッテリー表示

- (フル充電アイコン) : バッテリー電圧高
- (半充電アイコン) : バッテリー電圧中
- (低電圧アイコン) : バッテリー電圧低

また、次のような警告が出た場合はバッテリー電圧が基準値以下に下がっています。電源を切って充電してください。乾電池をご使用の場合は寿命です。新しい電池と交換してください。

- 送信したときに話中/送信ランプが赤く点滅する。
 - 送信できずに警告音が鳴る。
- なお、充電に関しましては、充電器の取扱説明書もよくお読みください。

バッテリーの持続時間(目安)

持続時間は送信5秒、受信5秒、待受け90秒、バッテリーセーブ機能ONの連続使用にてテスト使用した場合の室温時の目安です。なお、プライオリティスキャンを使用している場合の持続時間は下記より短くなります。KNB-18N/19は0℃以下、KNB-23L/34LWは5℃以下の低温で使用すると、持続時間が室温時より短くなります。

小エリア簡易無線機

送信出力	KNB-18N	KNB-19/23L	アルカリ電池
0.2W時	約9h	約19h	約6h
1W時	約8h	約15h	約5h

簡易無線機・一般業務用無線機

送信出力	KNB-18N	KNB-19/23L	KNB-34LW	アルカリ電池
1W時	約8h	約15h	約16h	約5h
4/5W時	約4h	約9h	約10h	使用不可

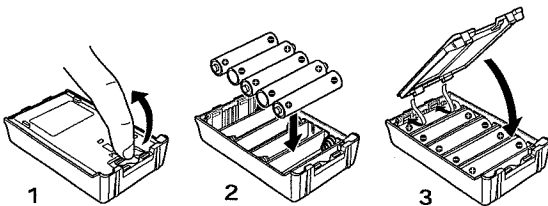
*1: 販売店にて設定されている場合の機能です。

■ バッテリーケース(オプション)の取り付け

電池を入れる

単3アルカリ乾電池(5本)をバッテリーケースに入れる

1. 矢印の方向に引いて、ふたを開ける。
2. 極性に注意して、乾電池を入れる。
3. ふたのつめを、ケースの穴に合わせて閉める。



バッテリーケースを取り付ける

取り付け/取り外しは、バッテリーパックと同じです。9頁を参照してください。



- 本機にはマンガン電池はご使用になれませんのでご注意ください。
- 充電中に無線機を使用すると、故障の原因となることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池は、5本とも同じ種類の新しい電池を使用してください。異なる種類や古い電池は使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は、電池ケースを本体から取り外してください。
- バッテリーケースは、送信出力1W以下専用です。

■ バッテリーケース(オプション)の取り付け

■ アンテナの取り付け

付属のアンテナの根元を持ち、本体上面にあるコネクタに取り付けます。

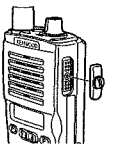


TCP-523のアンテナは本体に固定されています。



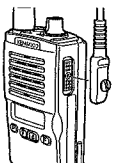
■ ユニバーサルコネクタのカバー取り付け

ユニバーサルコネクタを使用しないときは、付属のカバーをマイナスドライバー等でしっかりネジ止めます。



■ スピーカーマイクロホン/イヤホン付きクリップマイクロホン(オプション)の接続

マイクロホンのコネクタを本体のユニバーサルコネクタにマイナスドライバー等でしっかりネジ止めます。マイクロホンをご使用の場合は、マイクロホンの取扱説明書もお読みください。

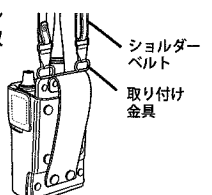


■ ショルダーベルト(オプション)の取り付け

ハードケースの左右にあるショルダーベルト取り付け金具に、ショルダーベルトを取り付けます。

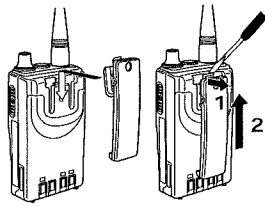


ショルダーベルトに付属している金具は本機では使用しません。



■ベルトフック(オプション)の取り付け/取り外し

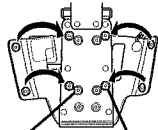
ベルトフックの取り付け金具をバッテリーパックのみぞに差し込み、矢印1の方向へカチッと音がするまで押し込みます。



取り外しは、クリップ部分の金具をマイナスドライバー等で矢印1の方向へ浮かせながら、矢印2の方向へ押し込みます。

■ハードケース(オプション)の取り付け

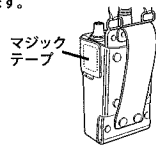
1. ハードケースのサイズは、背面のフックを留める位置により調節できます。取り付けるバッテリーパックやバッテリーケースに合わせて調節しておきます。



KNB-18N/23L/ KNB-19は外34LWは内側で留め 側で留めます。

2. ハードケースに無線機を差し込み、ケースの形を整えます。

3. 右側面のマジックテープを、ユニバーサルコネクタに取り付けたオプションの形状に合わせて貼り付けます。



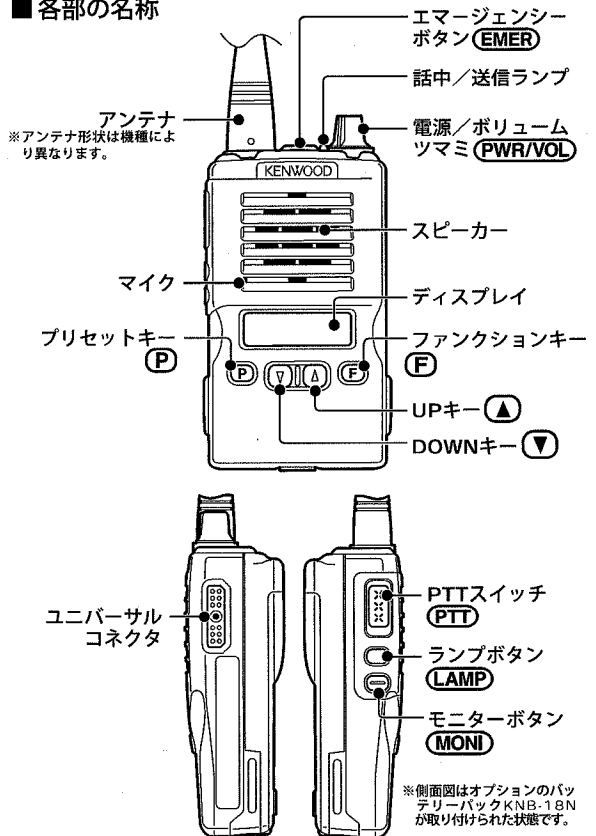
4. アンテナ止めひもでハードケースを固定し、無線機が抜け落ちないようにします。



! このハードケースは本機にバッテリーパックまたはバッテリーケースを取り付けた時のみ使用可能です。

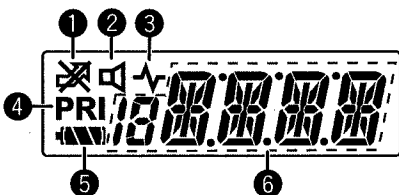
13

■各部の名称



14

■ディスプレイ



① (BUSY表示)

選択したチャンネルが使用中のとき表示されます。

② (スケルチ表示)

(MONI)を押してモニターをONにすると表示されます。

(MONI)を押した時の動作は設定により変わります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

③ (スケルチOFF表示)

(MONI)を押してスケルチがオープンすると表示されます。

④ PRI (プライオリティー表示)(*1)

プライオリティー機能ON時に表示されます。
(この機能は、簡易無線機では使用できません。)

⑤ (バッテリー表示)(*1)

バッテリー電圧の高/中/低を表示します。
(販売店での設定により表示可能となります。)

⑥ (状態表示)

選択したチャンネルや選択したセレクト番号、または受信したセレクトメッセージ番号がここに表示されます。ただし、表示内容は機能の設定状態により変わります。

*1: 販売店にて設定されている場合の機能です。

■ディスプレイ

15

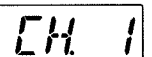
基本操作

待受受信操作

- 通信を傍受し、その存在もしくは内容を漏らしたり、窃用しないください。

1. (PWR/VOL)を右に回して電源を入れる

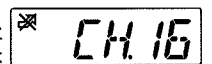
「ピーツ」と鳴って、初期設定時のディスプレイが表示されます。
電源をOFFするには(PWR/VOL)を「カチッ」という音がするまで左に回します。



2. (▼)/(▲)を押して、チャンネルを合わせる

- (▲)か(▼)を押すたびに、チャンネル番号が変わります。押し続けると連続して変わります。
- 受信すると話中/送信ランプが緑色に点灯し、ディスプレイは右の表示になります。

16チャンネルに設定した例



! 「簡易無線機」及び「一般業務用無線機」でシングルチャンネルに設定してある場合は、チャンネルは変わりません。

■待受受信操作 ■ボリュームの調節

ボリュームを調節する

受信の音量を調節します。

- ボリュームが最小時の音量は、販売店の設定により異なります。

1. (PWR/VOL)を時計方向に回す

交信中の音声が聞こえた場合は、好みの音量に調節してください。

- 信号を受信すると、話中/送信ランプが緑色に点灯します。何も聞こえない場合は(MONI)を押しながらノイズで好みの音量に調節してください。(MONIに「スケルチOFF」が設定されているときのみ可能です。)

16

バッテリーセーブ機能について

バッテリーの無駄な消耗を防ぐため、待受受信状態で、信号が受信されずキー操作もしない状態が約10秒以上続くと、一定の比率で受信回路の電源のON/OFFを繰り返します。この機能をバッテリーセーブ機能といいます。スケルチが開くか、キーが押されると、バッテリーセーブの動作は止まります。バッテリーセーブ機能は販売店で設定されます。

- 詳しくは、ご購入の販売店にお問い合わせください。

送信操作

- 送信する前に、アンテナがしっかり接続されていることを確かめてください。
- 送信する前に必ず使用する周波数を受信し、他局が交信していないことを確かめてください。

1. (PTT)を押しながらマイクに向かって話す

話中/送信ランプ (ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色) が点灯し、送信状態になります。

- マイクは口元から5cm程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。

連続送信防止機能について

連続して10分以上送信すると、強制的に受信状態に戻ります。送信を続けたいときは、一度(PTT)を離してから再度押し直してください。送信は、できるだけ短時間で、要領良く通話してください。なお、タイムアウトタイマー(46頁参照)を設定してある場合、連続送信時間は5分以下になります。

閉局する

1. (PTT)を離す

受信状態に戻ります。

- 通信を終了し、閉局する場合は、無線機の電源をOFFにしてください。

■送信操作 ■閉局

17

使いこなす

キー操作をできないようにする

携帯中などに誤ってキーが押されても、そのキーの入力を受け付けないようにできます。ただし、(PWR/VOL)、(MONI)、(LAMP)、(PTT)、(EMER)はロックできません。

ロックされているキーを押すと、エラー音(ビップ)が鳴ります。

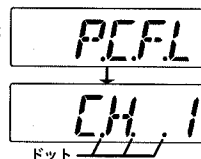
(P) (V) (A) (F)キーをロックする

1. (P)を押しながら電源を入れる

「ピーッ」と鳴ってキーロック画面が表示されたあと、チャンネル表示になります。

- キーロック中は、ドットが3箇所表示されます。

- セレコールメッセージ着信中に、定型文を表示させるための(P)の操作は可能です。(40項参照)



2. 解除の場合は、一度電源を切り、(F)を押しながら電源を入れる

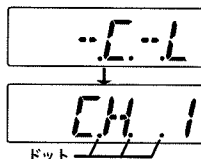
ドット表示が1箇所になり、キーロックが解除されます。

(V) (A)キーをロックする(チャンネルロック)

1. (A)を押しながら電源を入れる

「ピーッ」と鳴ってチャンネルロック画面が表示されたあと、チャンネル表示になります。

- チャンネルロック中は、ドットが3箇所表示されます。



2. 解除の場合は、一度電源を切り、(A)を押しながら電源を入れる

ドット表示が1箇所になり、チャンネルロックが解除されます。

18

使いこなす

ディスプレイの照明を点灯させる

暗い所で使うときなど、ディスプレイの照明を点灯できます。

1. (LAMP)を押す

- (LAMP)を押している間ディスプレイの照明が点灯します。
- 点灯中キー操作すると、操作終了後約5秒後に消灯します。
- キーを離してから何も操作をしないと5秒後に消灯します。送信/受信の状態にかかわらず、照明は点灯します。

エマージェンシー機能(*1)

緊急事態発生時エマージェンシーデータを送信し、指定局に知らせる機能です。受信側は、エマージェンシーデータを受信するとピープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。

- 本機能は販売店の設定により使用可能となります。

送信側

1. (EMER)を2秒(注1)以上押す

エマージェンシーチャンネル(注1)に移行して、3回エマージェンシーデータを送信します。

↓
運用チャンネルに戻り、再度エマージェンシーデータを3回(注1)送信します。

↓
受信状態に戻ります。

以後電源を入れ直すまで、スケルチは閉じたままになります。

→20項へ続く→

■ディスプレイの照明 ■エマージェンシー機能

使いこなす

受信側

エマージェンシーデータを受け取ると、送信側のセレコール番号を表示し、ピープ音が鳴り続けます。(この間に相手のセレコール番号を確認します。)



●セレコールOFFのとき

1. 何かキーを押す

1回目でピープ音が止り、2回目でエマージェンシー表示が消えます。

●セレコールONのとき

1. 何かキーを押す

ピープ音が止ります。

2. (PTT)を押す

エマージェンシー表示が消えます。

または(P)を押す

登録した番号の呼び出し(45頁参照)に移行後、エマージェンシー表示が消えます。

または(F)を押す

セレコールメニューの選択(21頁参照)に移行後、エマージェンシー表示が消えます。



- 簡易無線機または一般業務用無線機のシングルチャンネルで使用するときは、エマージェンシーチャンネルの設定はできません。
- 受信側の運用チャンネルと送信側のエマージェンシーチャンネルが運用チャンネルが同じチャンネルに設定されていないと、エマージェンシーの受信動作はできません。

■エマージェンシー機能

20

注1：販売店により変更される場合があります。

*1：販売店にて設定されている場合の機能です。

19

メニュー機能

各種の機能をメニューモードで設定できます。

メニューモードには2つの項目があり、セレコールメニューではメニューNo.1～8の機能、機能メニューではメニューNo.11～12の機能を選択して設定できます。

メニューモード

*1: 販売店にて設定されている場合の機能です。

メニューNo.	表示	機能	参照項
0*	05ELC	セレコールメニューモード	22
1	15LoF	セレコール機能ON/OFF	22
2	2C DDD	個別呼び出し	26
		グループ呼び出し	28
		一斉呼び出し	32
		一斉割り込み呼び出し	34
3	3RBoF	不在着信	36
4	4MESM	メッセージメモリー	41
5	5MES	メッセージ伝送	38
6*	6REP	メッセージ自動応答	43
7	7PSET	ワンタッチセレコール呼び出し	44
8	8GRP	グループ設定	30
10	10FUNC	機能メニューモード	22
11*	11PRoF	プライオリティースキャン	23
12	12NORM	データ専用チャンネル	24

- ! 販売店において機能が設定されていない場合は、セレコールメニュー、プライオリティースキャンの操作はできません。
- メニューNo.6は販売店にて設定されていない場合は表示されません。
 - メニューNo.11は簡易無線機では使用できません。
 - メニューNo.12は「TCP-523」のみの機能です。

■メニュー機能

21

セレコールメニューの選択

各種設定をメニューで行うとき、セレコールメニューモードの中から必要な機能のメニューNo.を選択します。

1. (F)を押す

セレコールメニューモードになります。

05ELC

2. (F)を押す

セレコールON/OFFメニューになります。

15LoF

3. (F)を押す

表示を「oN」にします。

通常モードに戻すときは表示を「oF」にします。

15LoF ← (F) → 15LoN

セレコール機能OFF

セレコール機能ON

4. (V)/(A)を押す

設定したい機能のメニューNo.(21頁表のNo.2～8)を選択します。

機能メニューの選択

機能の設定、変更をメニューで行うとき、機能メニューモードの中から必要な機能のメニューNo.を選択します。

1. (F)を押す

セレコールメニューモードになります。

05ELC

2. (V)/(A)を押す

機能メニューモードになります。

10FUNC

3. (F)を押す

プライオリティースキャン設定メニューになります。

11PRoF

4. (V)/(A)を押す

設定したい機能のメニューNo.(21頁表のNo.11～12)を選択します。

22

プライオリティースキャン(*1)

運用中のチャンネルで待受けしながら、一定時間(注1)毎にプライオリティースキャン(1または2)(注1)をチェックします。プライオリティースキャンで信号を受信すると、スキャンを一時停止して通話する機能です。通話が終了するか、一定時間(注1)信号の無い状態が続くと元のチャンネルに戻り、スキャンを再開します。

- 運用中のチャンネルで信号を受信中は、スキャン動作は行いません。
- 本機能は一般業務用無線機のシングルチャンネルと簡易無線機では使用できません。
- 本機能は販売店の設定により使用可能となります。

1. メニューNo.11の表示にする

22頁「機能メニューの選択」参照。

11PRoF

2. (F)を押す

表示を「oN」に設定します。

11PRoF ← (F) → 11PRoN

プライオリティースキャン機能OFF

プライオリティースキャン機能ON

- プライオリティースキャン機能を使用しないときは表示を「oF」に設定します。

- プライオリティースキャン機能ON時は表示部に【PRI】が表示されます。ON時点灯

PRI CH 16

プライオリティースキャンの信号を受信すると

スキャンを一時停止し、プライオリティースキャンが1つのみ登録されている場合は【PRI】が、2つ登録されている場合は【P1】または【P2】と表示されます。

PRI CHPR

PRI CHP1

PRI CHP2

3. (PTT)を押す

相手と通話してください。通話が終了するか、信号がなくなると、一定時間(注1)後に再びプライオリティースキャンを開始します。

! (LAMP)を押しながら(PTT)を押すと、プライオリティースキャンに移行して送信します。

■プライオリティースキャン

23

データ専用チャンネル(TCP-523のみ)

データ通信のみを目的とした通信を行いたいときに使用します。通常の音声通信チャンネルからデータ専用チャンネルに切り替えます。

- 本機能は「TCP-523」のみの機能です。
- データ専用チャンネルは19、20の2チャンネルです。

1. メニューNo.12の表示にする

22頁「機能メニューの選択」参照。

12NORM

2. (F)を押す

押すたびに表示部が音声通信チャンネルとデータ専用チャンネルに切り替わりますので、設定したいチャンネルの表示にします。

音声通信チャンネル 12NORM (F) 12DT.19 データ専用19チャンネル
(F) 12DT.20 (F) データ専用20チャンネル

3. 10秒間何もしない、または(PTT)か(P)を押す

データ専用チャンネルに設定されて、表示部に【d】が表示されます。

d

4. (PTT)を押す

相手にデータを送ります。

データ専用チャンネル表示

- ! データ専用チャンネルでは、音声の送信はできません。
- データ専用チャンネルではプライオリティースキャンは設定できません。
 - この機能をご使用になりたい場合は、ご購入の販売店にご相談ください。

24

セレコール機能(*1)

セレコール機能とは相手局を呼び出すとき、個別にまたはグループごとに、あるいは全局一斉にと自由に選択して呼び出すことのできる機能です。不在中に連絡が有ったことを知らせることもできます。

❗ 本機能は販売店の設定により使用可能となります。詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください。

セレコールON時のチャンネル表示

小エリア簡易無線(TCP-523)

チャンネル番号はセレコール番号の左に表示されます。

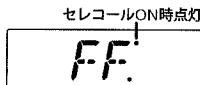


一般業務無線/簡易無線

以下の操作でチャンネル番号を確認できます。

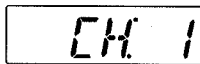
1. セレコールをONにする

上部中央のドットが点灯します。



2. (V)/(A)を押す

現在設定されているチャンネル番号が表示されます。



- (A)か(V)を押すたびに、チャンネル番号が変わります。
- (PTT)、(P)、(F)を押すか、何も操作しないで5秒たつと、元の表示に戻ります。

※本項以降、セレコール機能説明用のディスプレイ図は、一般業務無線マルチチャンネルと簡易無線(小エリア除く)で使用時の表示例を記載しています。

*1: 販売店にて設定されている場合の機能です。

■セレコール機能 ●セレコールON時のチャンネル表示

個別呼び出し

呼び出したい相手局を個別に呼び出して通話できます。ただし、通話中の局を呼び出すことはできません。

1. メニューNo.2の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。



例: セレコール番号「31」に設定

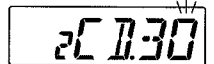
3. (V)/(A)を押す

相手のセレコール番号「31」の1桁目の数字を設定します。



4. (F)を押す

セレコール番号の2桁目が点滅します。



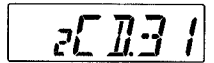
5. (V)/(A)を押す

相手のセレコール番号「31」の2桁目の数字を設定します。



6. (F)を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



呼び出す

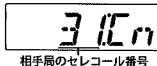
話中/送信ランプが消えていることを確認して

8. (PTT)を押す

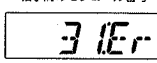
話中/送信ランプが点灯(ハイパワー: 赤色、ローパワー: 橙色)します。

■セレコール機能 ●個別呼び出し

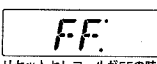
- 相手局に信号が届くと【Cn(コネクト)】が表示されます。



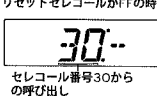
- 【Er(エラー)】を表示したときは呼び出しは失敗です。相手局のセレコール番号が表示されている間に、もう一度(PTT)を押してください。



- 相手局のセレコール番号が消えたときは、始めからやり直してください。



- 呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出した側のセレコール番号を表示して通話モードになります。(PTT)を押して話します。



【Cn】表示を確認して

9. (PTT)を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー: 赤色、ローパワー: 橙色)します。

受信に戻る

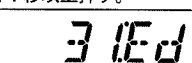
10. (PTT)を離す

呼び出しを終了する

11. (PTT)を押しながら(MONI)を押す

または(V)/(A)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す。

【Ed(エンド)】を表示し、個別呼び出しを終了します。



- ❗ 個別通話中の局を、他局が個別呼び出しすることはできません。呼び出した局は、呼び出し失敗になります。
- 個別通話中の局を、他局がグループ呼び出しまたは一斉呼び出しすることはできません。

■セレコール機能 ●個別呼び出し

グループ呼び出し

個別局を最大10(F0~F9)のグループに分けて、グループ毎に呼び出して通話できます。他のグループには通話が聞こえません。

- 1つの個別局は、最大6つのグループに属せます。
- グループの設定・変更は30頁の説明を参照してください。

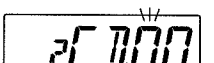
1. メニューNo.2の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。



例: セレコール番号「F5」に設定

3. (V)/(A)を押す

1桁目を「F」に設定します。



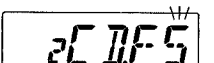
4. (F)を押す

2桁目が点滅します。



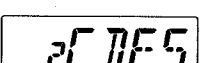
5. (V)/(A)を押す

2桁目を「5」に設定します。



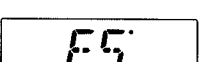
6. (F)を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



■セレコール機能 ●グループ呼び出し

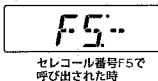
呼び出す

話中/送信ランプが消えていることを確認して

8. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

- 呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出されたセレコール番号を表示して通話モードになります。(PTT)を押して話します。



9. (PTT)を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

受信に戻る

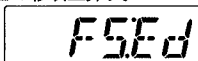
10. (PTT)を離す

呼び出しを終了する

11. (PTT)を押しながら(MONI)を押す

または(▽)/(▲)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す。

【Ed(エンド)】を表示し、グループ呼び出しを終了します。



通話中の局を、他局がグループ呼び出しまたは一斉呼び出しをすることはできません。

■セレコール機能 ●グループ呼び出し

グループ設定

自局が属するグループを登録したり、変更したりできます。

- 1つの個別局は、最大6つのグループに属せます。
- 設定できるグループ番号は、F0～F9の10通りです。
- グループメモリー番号はG1-G2-G3-G4-G5-GPがあります。なお、グループメモリー番号GPは優先グループ番号です。

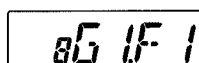
1. メニューNo.8の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

現在設定されているグループメモリー番号とグループ番号が表示されます。

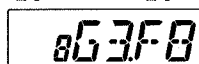


グループメモリー番号 グループ番号

3. (▽)/(▲)を押す

設定したいグループメモリー番号を選択します。

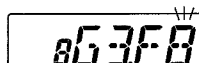
例：「G3」に設定



4. (F)を押す

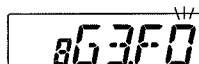
グループ番号の設定になります。

例：「F0」に設定



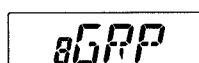
5. (▽)/(▲)を押す

設定したいグループ番号を選択します。



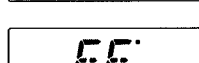
6. (F)を押す

設定を確定し、次の設定待ちになります。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



操作2～6を繰り返してG1～GPまでグループ登録できます。

■セレコール機能 ●グループ設定



セレコール通話状態の局を、他局が「グループ呼び出し」や「一斉呼び出し」で呼び出すことはできません。ただし、優先グループ番号に設定されている局を呼び出すと割り込み通話ができます。

セレコール番号について

セレコール機能を使うと、相手局を呼び出すとき、個別にまたはグループごとに、あるいは全局一斉にと自由に選択して呼び出すことができます。これらの機能を設定するときに使用するセレコール番号は、次のように分類されています。

00～99(個別番号)

相手局を個別に呼び出すときに設定します。

F0～F9(グループ番号)

個別局をグループに分けて、グループ毎に呼び出すときに設定します。

FF(一斉呼び出し番号)

通話中の局を除く、全ての個別局を一斉に呼び出すときに設定します。

FA(一斉割り込み呼び出し番号)

通話中の局も含めて、全ての個別局を一斉に呼び出すときに設定します。

■セレコール機能 ●セレコール番号について

一斉呼び出し

全ての個別局を一斉に呼び出して通話できます。ただし、通話中の局を呼び出すことはできません。

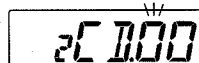
1. メニューNo.2の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。



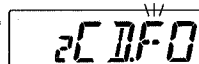
2. (F)を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。



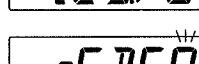
3. (▽)/(▲)を押す

一斉呼び出しのセレコール番号「FF」の1桁目を設定します。



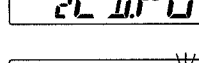
4. (F)を押す

2桁目が点滅します。



5. (▽)/(▲)を押す

一斉呼び出しのセレコール番号「FF」の2桁目を設定します。



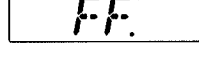
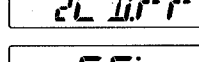
6. (F)を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



■セレコール機能 ●一斉呼び出し

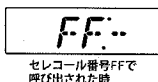
呼び出す

話中/送信ランプが消えていることを確認して

8. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

- 呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出されたセレコール番号を表示して通話モードになります。(PTT)を押して話します。



9. (PTT)を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

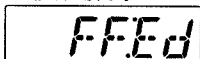
受信に戻る

10. (PTT)を離す

呼び出しを終了する

11. (PTT)を押しながら (MONI)を押す

または(▼)/(▲)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す。
【Ed(エンド)】を表示し、一斉呼び出しを終了します



■セレコール機能 ●一斉呼び出し

一斉割り込み呼び出し

通話中の局も含めて、全ての個別局を一斉に呼び出して通話できます。

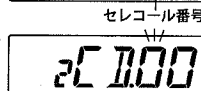
1. メニューNo.2の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。



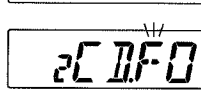
2. (F)を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。



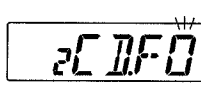
3. (▼)/(▲)を押す

一斉割り込み呼び出しのセレコール番号「FA」の1桁目を設定します。



4. (F)を押す

2桁目が点滅します。



5. (▼)/(▲)を押す

一斉割り込み呼び出しのセレコール番号「FA」の2桁目を設定します。



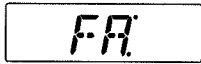
6. (F)を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



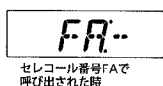
呼び出す

話中/送信ランプが消えていることを確認して

8. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

- 呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出されたセレコール番号を表示して通話モードになります。(PTT)を押して話します。



■セレコール機能 ●一斉割り込み呼び出し

9. (PTT)を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

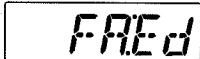
受信に戻る

10. (PTT)を離す

呼び出しを終了する

11. (PTT)を押しながら (MONI)を押す

または(▼)/(▲)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す。
【Ed(エンド)】を表示し、一斉割り込み呼び出しを終了します。



■セレコール機能 ●一斉割り込み呼び出し

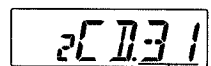
不在着信

無線機のそばを離れている相手と連絡を取りたいとき、信号を送って、着信があったことを伝えることができます。また、送った信号を取り消すこともできます。信号が届いたら【Sd(SEND)】表示が返ってくるので、送られたことが確実にわかります。

- 不在着信を設定をする前に、あらかじめ相手のセレコール番号を設定しておきます(26頁参照)。
- セレコール番号をFF(一斉呼び出し)、FA(一斉割り込み呼び出し)またはFO~F9(グループ呼び出し)に設定すると、不在着信データの設定はできなくなります。
- 相手局が不在着信動作中(表示は【CA(コール)】は個別呼び出しはできません)。

1. 相手のセレコール番号を設定する

設定は26頁「個別呼び出し」参照。



2. メニューNo.3の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。



3. (F)を押す

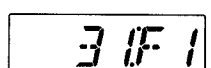
押すたびにoF-F1-FOを順に表示します。送りたいデータの表示にします。



- F1：不在着信音を鳴らして呼び出すとき。
- FO：不在着信呼び出しを取り消すとき。
- oF：不在着信機能をOFFにするとき。

4. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



呼び出しの鳴る時間は、販売店での設定により次の3種類があります。

- 不在着信音を連続で鳴らす。
- 不在着信音を20秒間鳴らす。
- 不在着信音は鳴らない(表示のみで知らせる)。

■セレコール機能 ●不在着信

話中/送信ランプが消えていることを確認して

5. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

- 信号が届いたら「ブルブル」と鳴り、【Sd(SEND)】が表示されます。

315d
相手のセレコール番号

- 「ビボビボ」と鳴って【Er(エラー)】が点灯したときは呼び出しは失敗です。相手のセレコール番号が表示されている間に、もう一度(PTT)を押してください。

31Er
相手のセレコール番号

- 相手のセレコール番号が消えたときは、始めからやり直してください。

FF
リセットセレコールがFFの時

不在着信を受信した局の操作

信号を受信すると不在着信音が鳴り、【送信した局の番号】と【CA(コール)】が表示されます。

30CA
送信した局のセレコール番号

1. (PTT)を押す

呼び出した局と通話します。

- 呼び出しに失敗したときは5秒後に待受け状態に戻り、リセットセレコール番号にセットされます。
- (MONI)を押したときは待受け状態に戻り、セレコール番号が「FF」にセットされます。
- 受信した側の不在着信音を停止させるには、何れかのキー(LAMP)を除くを押します。

■セレコール機能●不在着信

セレコールメッセージ伝送

個別呼び出し時に0~9までの番号を送受信できます。この番号にあらかじめ意味づけしておくことで、メッセージを伝えることができます。

- 例 1：会社に電話してください。
- 2：波滞中で、電話できません。

相手に届いたら【Cn(コネクト)】表示が返ってくるので、送られたことが確実にわかります。

- メッセージ伝送を設定をする前に、あらかじめ相手のセレコール番号を設定しておきます。
- メッセージ伝送はセレコール番号が00~99に設定されているときのみ可能です。セレコール番号をFF、FA(一斉呼び出し)またはFO~F9(グループ呼び出し)に設定すると、メッセージの設定はできなくなります。
- 不在着信を受信し、表示が【CA(コール)】となっているときはメッセージ伝送を受けることはできません。
- メッセージと不在着信データを同時に送出することはできません。

1. 相手のセレコール番号を設定する

26頁「個別呼び出し」参照。

2C031
相手のセレコール番号

2. メニューNo.5の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。

SME5
相手のセレコール番号

3. (F)を押す

メッセージ番号の設定モードになります。

SME50
メッセージ番号

例：メッセージ番号1に設定

4. (V)/(A)を押す

伝送するメッセージ番号を設定します。

SME5.1
メッセージ番号

5. (F)を押す

設定したメッセージ番号が確定します。

SME5.1
メッセージ番号

■セレコール機能●セレコールメッセージ伝送

6. (PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。

311
相手のセレコール番号
メッセージ番号

話中/送信ランプが消えていることを確認して

7. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。

- 信号が届いたら「ブルブル」と鳴り、【Cn(コネクト)】が表示されます。

31Cn
相手のセレコール番号

- 「ビボビボ」と鳴って【Er(エラー)】が点灯したときはメッセージ伝送は失敗です。相手の番号が表示されている間に、もう一度(PTT)を押してください。

31Er
相手のセレコール番号

- 相手局の番号が消えたときは、始めから操作をやり直してください。

FF
リセットセレコールがFFの時

- 呼び出された側は「ブルブル」と鳴って、【送信した局のセレコール番号】と【メッセージ番号】を表示します。

301
送信した局の
セレコール番号
メッセージ番号

■セレコール機能●セレコールメッセージ伝送

セレコール定型文表示(*1)

あらかじめメッセージの定型文を登録しておき、メッセージを着信、送信するときに表示することができます。

- セレコール定型文は販売店においてのみ登録可能です。詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください。

1. メッセージ番号を選ぶ

着信したメッセージを見るときは41頁「メッセージメモリーの呼び出し」の操作1~3、メッセージを送信するときは38頁「メッセージ伝送」の操作1~4を参照。

43021
メッセージ番号2

2. (P)を押す

セレコール定型文が表示されます。

- セレコール定型文は、英字(大文字)、数字、スペースの組み合わせで、最大16文字です。
- 定型文が5文字以上のときは、自動でスクロール表示します。
- セレコールメッセージ着信中にも(P)を押すと、定型文が表示されます。

4LATE
セレコール定型文

(P)を押すか、スクロールが終了して2秒たつと、元の表示に戻ります。

*1：販売店にて設定されている場合の機能です。

セレコールメッセージメモリー

着信したセレコールメッセージ(セレコール番号とメッセージ番号、またはセレコール番号のみ)を自動的にメモリーし、後から呼び出して確認できます。

メッセージメモリーの呼び出し

1. メニューNo.4の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。

2. (F)を押す

メッセージメモリー表示モードになります。

3. (V)/(A)を押す

押すたびにメモリ番号と共に着信データが切り替わります。

- メッセージはメモリ番号「1」のときが1番古く、2～9と数字が大きくなるに従って新しくなります。
- メモリ番号「0」のときは常に最新のメッセージになります。
- メッセージは最大10件までメモリーされます。それ以上の着信があった場合は、古いメモリから順番に消去されます。
- メッセージが無くセレコール番号のみのときは、メッセージ番号の表示部が「--」となります。

- メッセージがメモリーされていない場合は動作しません。
- 確認のみの場合、10秒間何も操作しないか(P)を押すとメニュー表示が解除されます。

—42項へ続く—

メッセージを修正して送り返したいとき
前ページに引き続いて操作します。

相手のメッセージメモリーが表示されている状態で

4. (F)を押す

メッセージ番号が点滅します。

5. (V)/(A)を押す

メッセージ番号を送りたい番号に変更します。

- 定型文が登録されている場合は(P)を押すと、定形文が表示されます。

6. (F)を押す

メッセージ番号が確定します。

話中/送信ランプが消えていることを確認して

7. (PTT)を押す

セレコール番号の相手にメッセージを送り返し、呼び出すことができます。

終了する

8. (PTT)を押しながら(MONI)を押す

または(V)/(A)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す。

【Ed(エンド)】を表示し、メッセージメモリーの送信を終了します。

- メッセージメモリーが表示されている状態で(PTT)を押す、個別通信が成功した場合、呼び出したメッセージメモリーはクリアされます。

メッセージメモリーの全消去

1. 電源をOFFにする

全てのメッセージメモリーが消去されます。

セレコールメッセージ自動応答

不在中に呼び出されたとき、あらかじめ設定しておいたメッセージ番号を自動的に送り返す機能です。

1. メニューNo.6の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。

2. (F)を押す

メッセージ自動応答設定モードになります。

3. (V)/(A)を押す

送り返すメッセージの番号を設定します。

例：メッセージ番号3

- 定型文が登録されている場合は(P)を押すと、定形文が表示されます。

4. (F)を押す

メッセージ番号が確定します。

5. (PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。

これで個別に呼び出されたら、設定したメッセージ番号を自動的に送り返します。

自動応答機能ON状態

- 自動応答メッセージ番号は「0」～「9」の1桁です。
- 自動応答メッセージに「_」を設定すると、メッセージ自動応答機能はOFFになります。
- 販売店において、メッセージ自動応答機能が「なし」に設定されているときはメニュー表示されません。

呼び出した側の表示

相手局のセレコール番号とメッセージ番号が表示されます。

セレコール番号
メッセージ番号

ワンタッチセレコール番号呼び出し

よく使う個別呼び出し番号やグループ呼び出し番号を、あらかじめ登録しておくと、(P)を押すだけでその番号を呼び出すことができます。

呼び出し番号の登録

1. メニューNo.7の表示にする

22頁「セレコールメニューの選択」参照。

2. (F)を押す

登録番号設定モードになります。

例：登録番号「3」に設定

3. (V)/(A)を押す

設定したい登録番号の表示にします。

- 登録番号は0～9の10通り有ります。

4. (F)を押す

セレコール番号の1桁目が点滅します。

例：セレコール番号「21」を登録

5. (V)/(A)を押す

セレコール番号の2桁目の表示にします。

6. (F)を押す

セレコール番号の2桁目が点滅します。

7. (V)/(A)を押す

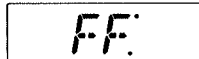
セレコール番号の2桁目の表示にします。

8. (F)を押す

登録番号「3」にセレコール番号「21」が登録され、メニュー表示に戻ります。

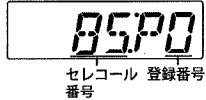
操作2.から繰り返して登録できます。

9. **(P)**または**(PTT)**を押す
メニュー表示が解除されます。



登録した番号の呼び出し

1. **(P)**を押す
押すたびに設定されているセレコール番号が登録番号0～9の順に表示されます。
2. **(V)/ (A)**を押す
登録番号を変更することができます。



話中/送信ランプが緑点灯していないことを確認して

3. **(PTT)**を押す
表示しているセレコール番号の個別呼び出しができます。
話中/送信ランプが点灯(ハイパワー：赤色、ローパワー：橙色)します。
相手に信号が届くと【Cn(コネクト)】が点灯します。



登録した番号の呼び出しを行ってから5秒間何も操作しない場合は、登録番号の表示を解除し、リセットセレコール番号に戻ります。

■セレコール機能 ●ワンタッチセレコール番号呼び出し

その他の機能(*1)

次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、ご購入の販売店にご相談ください。

- **リセットセレコール**
通常使用するセレコール番号をリセットセレコール番号に設定しておく、他のセレコール番号で呼び出して、終話または呼び出しに失敗してから5秒後自動的にリセットセレコール番号に戻る機能です。
- **ビープ音のON/OFF**
キー操作時のビープ音を鳴らさないようにする機能です。静かに使いたい場所ではOFFにすることができます。
- **ビープ音量設定**
ビープ音を大/小に切り替える機能です。イヤホンを使用する時はビープ音を小に設定すると聴きやすくなります。
- **タイムアウトタイマー**
一人の人がチャンネルを長時間占有しないように、一定時間以上送信を続けたとき、自動的に受信状態に戻す機能です。設定できる時間は次の通りです。
 - タイムアウトタイマー制限時間：0～300秒(STEP=30秒)連続送信できる時間の設定です。
 - ロック予告時間：0～250秒(STEP=10秒)送信を制限時間まで続けたとき予告音を鳴らす時間の設定です。
 - 送信ロック時間：0～900秒(STEP=30秒)/解除なし
送信を制限時間まで続けると送信出来なくなり、次の送信が可能となる迄の時間設定です。
 なお、タイムアウトタイマーの設定がOFFの場合でも、連続して10分以上送信すると強制的に受信状態に戻ります。

*1：販売店にて設定されている場合の機能です。

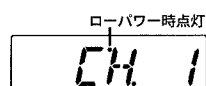
- **スケルチレベルの調節**
スケルチの動作レベルを調節する機能です。信号の無いチャンネルを受信したとき雑音が多かったり、信号は強くても音声途切れがちな時などに設定を変更すると使いやすくなる場合があります。
- 使用例
見通し距離100m以内の近距離通話やパソコンなどOA機器の近くで使用する場合は設定値を大きくしてください。

- **送信出力**
送信出力はハイまたはローに設定できます。出力により送信時点灯する「話中/送信ランプ」の色は次のようになります。
 - ハイパワーに設定時：赤色に点灯
 - ローパワーに設定時：橙色に点灯

使用例：
見通し距離100m以内の近距離通話などで使用する場合は、ローパワーで使用するると他局への妨害を防ぐことができます。

- **ローパワー切り替え**
エマージェンシーボタンがローパワー切り替えボタンとして設定されている場合は、送信出力をローパワーに切り替えてバッテリーを長持ちさせることができます。

1. **(EMER)**を押す
上部左のドットが点灯します。



- ローパワー送信中は、話中/送信ランプが橙色に点灯します。

2. 解除の場合は、**(EMER)**を押す
上部左のドットが消え、ローパワーが解除されます。

- **スケルチオープン遅延機能**
送信開始時に発生する識別データ信号を聞こえなくするために、スケルチのオープン時間を遅らす機能です。

■その他の機能

- **マイクミュート解除音**
送信開始時は識別データ信号を送信する間マイク出力は停止されます。したがって、PTTを押してすぐ通話を始めると頭切れが生じてしまいます。これを防止するために識別データ信号の送信が終了するとマイクミュート解除音を鳴らし、通話の開始を促す機能です。
- **セレコール動作のミュート解除条件選択機能**
セレコール機能を使用時、ミュート解除の条件を次の2つの中から選択できる機能です。
 - セレコール一致時アンミュート
混信を避けるために電波の飛びは犠牲にできる地域(都市部)で有効です。
 - セレコール不一致時ミュート
混信は有っても電波の飛びを重視する地域(地方)で有効です。
- **ビジーチャンネルロックアウト**
設定されたチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルの送信を禁止する機能です。
- **ノンコネクト機能**
セレコール個別呼び出しの時に、受信局からのデータ(ACK)を待たずにリンクさせる機能です。**(PTT)**を押し、すぐに話し出した時に、音声の最初が途切れるのを防止します。



ノンコネクト機能がONの場合は、セレコールメッセージ自動応答機能(43ページ)は使用できません。

- **接続音、終話音のON/OFF**
セレコールの個別呼び出しや一斉呼び出しの接続音、終話音を鳴らすか、鳴らさないかの設定です。
- **呼び出しコード送出遅延**
ボータブル局がバッテリーセーブ状態にある時に、バッテリーセーブが解除され、セレコールが受けられるように、送信開始から呼び出しコードを送出するまでの時間を遅延させる機能です。

■その他の機能

● スケルチOFF/モニター

手動でスケルチを開く、またはシグナリングを解除し、受信信号の状態をモニターする機能。

(MONI)に「モニターモメンタリ」、「モニターロック」、「スケルチOFF」のいずれかを設定することができます。

● チャンネルネーム機能

それぞれのチャンネルに名前をつけて運用する機能です。チャンネルネーム機能を使用する場合、チャンネルは最大20チャンネルまでの登録になります。



- 本機能は一般業務無線のみ設定が可能です。
- 表示できる文字は英字大文字、数字、スペースの組み合わせで、最大4桁です。
- チャンネルネーム表示と通常のチャンネル表示(CH:XX)を切り替えることはできません。

● (F)キーロック

誤ってメニューや機能の設定を変更できないように、(F)キーのみ操作を受け付けなくする機能です。

■ その他の機能

49

その他

■ 免許について

● 免許状

免許状は必ず無線機のそばに備えてください。

● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 目的
2. 相手方
3. 通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則として出来ません。

● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

免許ならびに再免許の手続きは、ご購入の販売店にご相談ください。

● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、ご購入の販売店にご相談ください。

● 再免許の申請

- 免許証の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許証が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

■ 免許について

50

その他

■ 故障かな？と思ったら

次のような症状は故障ではありません。下の表を参照し、該当する項目を確認してください。

それでも解決しないときは、ご使用を中止しご購入の販売店、または当社サービスセンターへお問い合わせください。

● 症状と処置

症 状	原 因	処 置
(PWR/VOL)を回しても電源が入らない。	電源の電圧が下がっている。	バッテリーパックを充電してください。
受信音声がかた聞こえない。 右記2.~4.は、販売店の設定によっては、該当しないことがあります。	1. 音量を絞っている。 2. シグナリング・スケルチ(CTCSS/DCS)のコードが違う。 3. セレコールのIDが違う。 4. 受信波が弱い。	1. 音量ボリュームを調整する 2. 販売店にご相談ください。 3. 販売店にご相談ください。 4. (MONI)ボタンを押す。
送信できない	1. スピーカーマイクロホンの接続がはずれている。 2. 連続送信防止機能が働いている。 3. セレコール信号が相手に認識されていない。	1. スピーカーマイクロホンを接続する 2. 販売店にご相談ください。 3. セレコールをOFFにする。
個別のセレコール番号を設定しているのに、他局の通話が聞こえる。	他局が近くで同じセレコール番号を使用している。	販売店にご相談ください。

■ 故障かな？と思ったら

51

その他

■ アクセサリー(オプション)

◆TCP-123/ 223/ 523には下記のオプション(別売品)が用意されています。

- KNB-18N ニッケル水素バッテリーパック(7.2V/750mAh)
- KNB-19 ニカドバッテリーパック(7.2V/1500mAh)
- KNB-23L リチウムイオンバッテリーパック(7.4V/1500mAh)
- KSC-27R 急速充電器
- KBP-3 バッテリーケース
- KMC-29 スピーカーマイクロホン
- EMC-4 イヤホン付クリップマイクロホン
- KEJ-1 イヤホンジャックアダプタ
- KBH-9 ベルトフック
- KLH-82 ハードケース
- KSB-1 ショルダーベルト

◆TCP-133W/ 233Wには下記のオプション(別売品)が用意されています。

- KNB-34LW ... リチウムイオンバッテリーパック(7.4V/1700mAh)
- KSC-27R 急速充電器
- KMC-37W スピーカーマイクロホン
- KBH-9 ベルトフック
- KLH-82 ハードケース
- KSB-1 ショルダーベルト

※KNB-34LW/ KMC-37WはIP-55/ IP-57規格に対応した製品です。

■ アクセサリー(オプション)

52

■ 仕様

- | | | | | |
|---------------|---|------------|------------|---------------------|
| 機種名 | TCP-123 | | TCP-223 | |
| | TCP-133W | | TCP-233W | |
| 型式名 | TCP-123CT | TCP-123FT | TCP-223CT | TCP-223FT450 |
| | TCP-133WCT | TCP-133WFT | TCP-233WCT | TCP-233W450FT |
| 送信出力 | 1W/ 5W | | 1W/ 4W | |
| チャンネル数 | 9 | 最大35 | 35 | 最大35 |
| 周波数 | 許可された9波
142~
162.0375MHz | | 許可された35波 | 450~
469.9875MHz |
| 電波形式 | F3E/ F2D | | | |
| 消費電流 | 送信時 | 1.9A | | |
| | 受信時 | 300mA | | |
| | 受信待受時 | 75mA | | |
| 電源電圧 | DC 7.5V±20% | | | |
| 寸法
(突起含まず) | TCP-123/ 223:
56(幅) X 99.5(高) X 26.4mm(奥行)<KNB-18N装着時> | | | |
| | TCP-133W/ 233W:
56(幅) X 99.5(高) X 31.1mm(奥行)<KNB-34LW装着時> | | | |
| | TCP-123/ 223/ 279g (KNB-18N装着時/アンテナ含む)
TCP-133W/ 233W: 263g (KNB-34LW装着時/アンテナ含む) | | | |
| 質量 | TCP-123/ 223: 279g (KNB-18N装着時/アンテナ含む)
TCP-133W/ 233W: 263g (KNB-34LW装着時/アンテナ含む) | | | |

- | | | | |
|---------------|--|--------------|----------------------|
| 機種名 | TCP-223 | | TCP-523 |
| 型式名 | TCP-223FT400 | TCP-223FT360 | |
| 送信出力 | 1W/ 4W | | 0.2/1W |
| チャネル数 | 最大35 | | 20(注) |
| 周波数 | 400~420MHz | 360~380MHz | 348.5625~348.800MHz |
| 電波形式 | F3E/F2D | | |
| 消費電流 | 送信時 | 1.9A | 0.9A |
| | 受信時 | 300mA | |
| | 受信待受時 | 75mA | |
| | 電源電圧 | DC 7.5V±20% | |
| 寸法
(突起含まず) | 56mm(幅) X 99.5mm(高) X 26.4mm(奥行)
(KNB-18N装着時) | | |
| 質量 | 279g
(KNB-18N装着時/アンテナ含む) | | 259g
(KNB-18N装着時) |

(注)：データ専用の2波を含む。

■保証とアフターサービス

仕様

- ※ 点検の結果により製品交換になる場合がありますので、予めご了承ください。

53

54

[illegible]

- メッセージ番号

番号	メッセージ
0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

關メ毛欄

55

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせはカスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話：(045) 933-5502 (受付時間 午前9:00～午後6:00)
＜土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。＞

FAX: (045) 933 - 5553

- アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください(別紙“全国サービス網”をご参照ください)。